



「2019年度 リフレッシュプログラム」へキックオフ

「こらっせ」が活動をはじめてから今年で8年目になります。

今年のキックオフミーティングは、原発事故後から福島県いわき市で子育て中の母親のための場づくりを通じて、子どもたちの放射線被曝問題に取り組んでこられた千葉由美さんから福島県内の子どもたちが置かれた状況についてお話を伺います。

千葉由美さんは、現在も定期的に「小さなお茶会」を開いています。ご両親が抱えている様々な悩みや思い切って遊ぶことができない環境で育つ子どもたちの思いなどについてお話を聞けたらと思います。

また、8月に開催する「神奈川リフレッシュプログラム」と福島県楢葉町での学童応援について、こらっせユースの大学生による報告もあります。

原発事故から8年、子どもたちは今

千葉由美さん「いわきの初期被曝を追及するママの会」代表

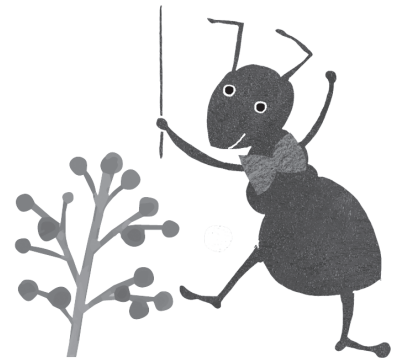
楢葉学童保育訪問とリフレッシュプログラムの報告

こらっせユース

日時：5月12日(日) 14時～16時30分

会場：県民サポートセンター 11階コラボスタジオ
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5681/p16362.html>

資料代：500円



いわき市は福島県の浜通り（沿岸部）の南部に位置する人口35万人の都市です。福島原発事故では、楢葉町の仮庁舎、小学校・中学校の校舎や仮設住宅も置かれました。私たちも2015年まではいわき市ある楢葉町の各施設を訪れました。学童応援も最初は仮設住宅内にある「空の家」で行いました。

千葉さんは「TEAMママベク子どもの環境守り隊」として2013年から市内すべての保育園・幼稚園・小学校・中学校の空間線量の測定と土壌汚染調査のほか、汚染土の運び出し、危険区域のプレート案内、学校給食、甲状腺癌の取組みなどを行ってきました。学校だけでなく市役所や教育委員会にも提言を行っています。千葉さんは2018年からは「モニタリングポストの継続配置を求める市民の会」の共同代表も務めています。

主催：福島子ども・こらっせ神奈川

連絡先：TEL:045-353-9008 FAX:045-353-9998

E-mail: info@korasse-kanagawa.org